

| | | |
|--|--|--------------------------------------|
| <div>事業結果要約報告書</div> <div>—科学技術振興関係—</div> | | <div>受付番号</div> <div>2024 KJ-1</div> |
| <div>公益財団法人マツダ財団 御中</div> <div>令和7年3月5日</div> <div><div>所属機関名</div>広島県立祇園北高等学校</div> <div><div>申請代表者</div>田中 勲</div> <div><div>役 職</div>教諭</div> <div><div>フリガナ</div>ニシ タケヒロ</div> <div><div>氏 名</div>西 武宏</div> <div>(TEL : 082-875-4607)</div> | | |

マツダ財団から受けた 助成金 105 千円 による事業結果について、
次のとおり報告します。

事業結果報告（以下の項目について具体的にご記入ください。形式・レイアウト自由、ボリュームは適宜調節ください。）

事業の目的・ねらい

近年、高校現場において「探究活動」の重要性が増している。本校は学校目標に「文武両道」を掲げており、「部活動」を「探究する」という取組はメディアでも数多く取り上げられている。中でも本校の野球に関する探究活動は令和3年度からの本助成のおかげで大きな成果を挙げている。

この3年間の多くの成果は県外など学校外のものが多く、学会やコンテストへの出場等、経験を積んだ生徒だけに限られることが課題と感じていた。今年度の本校の使命は「普及」、つまり高いレベルの科学探究能力を持つ生徒(子どもたち)を数多く育成することである。今年度は本助成によって、「野球専門の研究者を本校へ招く」ことで、『全ての「野球好き」に高いレベルの科学技術に触れさせること』『その経験を得た高校生が文化祭等で若年層へ“科学技術”を普及すること』の2つの目的を達成することがねらいである。

事業の概要

- ① 多くの本校生徒を対象とした「データ解析講演会」を実施する。
- ② 地域に出向き、「科学研究交流会」を実施する。

上記2つの企画により、専門的科学研究の「本校生徒への普及」と「地域住民への普及」を行うことが本事業の概要である。

成果・効果

【データ解析講演会】

当初、計画していた「野球におけるデータ解析講演会」について次のように実施することができた。

日時：8月22日 対象：本校の野球を探究テーマに設定している生徒約30名

講師：Mac's Trainer Room 代表 高島 誠 氏

本会の影響は大きく、野球のみならず、他競技からの要望もあり、他競技での「データ解析講演会」も実施することができた。サッカーに関する講演会と音楽に関する講演会は本校が講師を招き、企画・実施を行った。さらに、バスケットボールに関する外部企画に生徒を参加させることができた。

【科学研究交流会】

当初、計画していた「文化祭科学研究交流会」について次のように実施することができた。

日時：6月15日 対象：本校の野球をテーマに設定している生徒約10名。参加地域住民約40名。

年間を通じて、本会以外にも、7/19には祇園小学校に出向き、また11/9・10には祇園西公民館に出向き「科学研究交流会」を実施した。VRやDX機材を用いた交流から、投球などのデータ解析交流まで、生徒が講演で学んだことを活かしながら交流することができた。

本年度は延べ人数 270 名程度の生徒・地域住民に科学研究を普及できた。継続的に行っている野球研究の生徒は、今年度も学会発表等、高いレベルでの経験もできている。来年度は事業の継続と、更なる普及を行っていきたい。

写真、図（4点程度。写真や図にはタイトルをご記入ください。）



8/22「野球におけるデータ解析講演会」の様子



8/9「サッカーにおけるデータ解析講演会」の様子



7/19「小学校科学研究交流会」の様子



11/9・10「地域科学研究交流会」の様子

※ 3ページ以降も自由に追加いただいて結構です。

※この「事業結果要約報告書」(Word)、デジカメ写真の画像(.jpegなどで、解像度を下げないもの)を、CD-R等に入れてご提供いただければ幸いです。

※みなさまの活動を「事業結果要約報告書」や「マツダ財団ホームページ」で、写真も含めてご紹介したいと思っております。写真撮影の際には、参加者の皆様にもその旨了解を得ておいてください。